



令和4年 7月 6日
一般社団法人家畜改良事業団
情報分析センター

令和3年度乳用牛群能力検定成績速報について

家畜改良事業団（理事長 富田 育稔）では、乳用牛群検定全国協議会と連携して、全国の牛群検定成績の集計・分析を行っています。この度、令和3年度における乳用牛群能力検定成績速報をとりまとめましたので、その概況をお知らせします。

1. 令和3年の305日乳量は、順調に推移し9,830kgと過去最も高い結果となりました。繁殖成績は、全国平均では分娩間隔429日（中央値403日）と昨年から2日短縮しました。
2. 最も分娩間隔が長期化した平成23年からは9日間短縮しましたが、305日乳量は654kg増えています。
3. 自動搾乳（搾乳ロボット）検定（以下自動検定）が急速に普及しており、ホルスタインでは305日乳量も顕著に伸びて、全国平均で11,354kgとなりました。
4. 性選別精液による雌雄の生み分けも進み、北海道ではメス産子が57.7%、都府県では55.8%でした。

令和3年度乳用牛群能力検定成績のまとめ（概況・速報）

URL <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/index.html>

「乳牛最新情報」で検索

<お問い合わせ先>

一般社団法人 家畜改良事業団
情報分析センター
東京都江東区冬木11-17 イシマビル
担 当 相原 光夫(あいほら みつお)
郡司 さとみ(ぐんじ さとみ)
TEL: 03-5621-8921
FAX: 03-5621-8922
E-mail: toiawase@liaj.or.jp